

見 積 参 考 資 料

香美市

(金抜)

防安 P K - 4 第4-62-001号

高知県 香美市 土佐山田町楠目

令和 7 年度 防災・安全交付金 市道小島線改良工事 実施設計書

作業区分 請負

工事日数 185 日

工種区分 道路改良工事

施工地域区分 一般交通影響有り (2)

令和 7 年 4 月 21 日 積算単価適用

単価適用地区 中央東土木事務所 1 地区(南部地区)

- ・「見積参考資料」は入札参加業者の迅速で適正な工事費の見積りのための一資料であり、請負契約を拘束するものではない。
- ・入札においては「見積参考資料」に記載された事項を最優先するものとし、その他の閲覧資料との表示に違いがある場合においても、入札の公正性が確保される範囲で入札事務を継続するものとする。
- ・「見積参考資料」に記載されている積算に関する事項については、契約後、必要に応じて建設工事請負契約書の規定に基づき、協議を行う場合がある。

工事概要			起工又は変更理由
施工延長	L=69m		
1号重力式擁壁	V=3m3		
2号重力式擁壁	V=27m3		
排水工	L=154m		
アスファルト舗装工	A=405m2		
コンクリート舗装工	A=65m2		
図面番号	FROM	TO	
整理番号	-	-	

特 記 仕 様 書

第1条 土木工事共通仕様書の適用

- 1 本工事の施工にあたっては、「高知県建設工事共通仕様書」に基づき実施しなければならない。

但し、共通仕様書の各章における「適用すべき諸基準」で示された示方書、指針、便覧等は改訂された最新のものとする。なお、工事途中で改訂された場合は、この限りではない。

第2条 環境物品等の調達推進（グリーン購入法）

- 1 本工事において「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律」（グリーン購入法）及び「環境物品等の調達に関する基本方針及び調達方針」に基づき重点調達品目について積極的な利用をすること。なお、重点調達品目の中で木材・木製品等においては、その原料とされる原木が生産された国における森林に関する法令に照らして合法的なものを使用することとする。

第3条 県内産資材の優先使用

- 1 本工事に使用する資材は、機能、品質、価格等が同等であれば、県内産資材を優先して使用するものとする。

なお、県外産資材を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打合せ事項に記載し、監督員の確認を受けること。また、検査時に県外産資材を使用した理由を検査職員に説明すること。

注1：県内産資材とは、高知県内で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工した資材、又は高知県外で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工された資材をいう。

ただし、①木材は、高知県内の森林から生産されたもの、②生コンクリートの細骨材に配合する海砂は、高知県内で産出されたもの、③木製型枠は、高知県内の森林から生産された木材で製造されたものとする。

注2：県外産資材とは、県内産資材以外の資材をいう。

第4条 木製型枠の使用

- 1 木製型枠とは、杉、檜の間伐材等を板材に加工したものと桟木を組み合わせて作成した型枠（以下「木製型枠」という。）をいう。また、一般型枠とは、鋼材または、合板で作成した型枠（以下「一般型枠」という。）をいう。
- 2 設計図書等に「木製型枠」と明示している構造物は、木製型枠を標準的に使用すること。ただし、止め型枠・パチ部への一般型枠の使用は可能とする。
- 3 高知県内産材を用いて木製型枠を製造する事業所は、高知県ホームページ（<https://www.pref.kochi.lg.jp/>）林業振興・環境部木材産業振興課のページに

掲載しているので参考にすること。

なお、県外産材で製作した木製型枠を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打ち合わせ事項に記載し監督職員の確認を受けること。

- 4 木製型枠は、型枠の現場搬入時から型枠組立、型枠脱型までの施工期間中に現場で木製型枠であることの確認を受けなければならない。確認の方法については、県産材で製作した型枠及び県産材材料には製造者が証明（スタンプ等）を行っているため、その箇所を工事監督職員に提示することで確認とする。
- 5 木製型枠を使用できない事由があり、一般型枠を使用する場合も、その使用理由を施工計画書の打ち合わせ事項に記載すること。ただし、その場合は一般型枠への設計変更を行う。
- 6 受注者は、発注者が行う木製型枠に関する調査に協力しなければならない。

第5条 木材等を使用した公共土木施設の実績調査

- 1 本工事の受注者は、木材の利用の有無を問わず、木材等を使用した公共土木施設の実績を【高知県電子申請サービス】から申請すること。なお、【高知県電子申請サービス】による申請は以下のとおりとする。

2 申請について

- (1) 受注者が高知県ホームページの高知県電子申請サービスのページから電子申請を行う。

(https://s-kantan.jp/pref-kochi-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=2052)

手続き名：高知県土木部 公共土木工事木材利用実績調査

- (2) 申請前に電子申請システムから出力した「高知県土木部 公共土木工事木材利用実績調査」を工事監督職員へ提出し確認を受けること。
- (3) 申請内容に関する問合わせは工事監督職員または高知県土木部技術管理課、システム操作に関する問合わせは「お問合せコールセンター」（申請画面下に掲載）とする。

第6条 工事現場における県内産木材の木製品使用

- 1 受注者は、工事請負金額（消費税含む）が250万円以上の場合、「高知県産材利用推進方針」の行動計画に基づき、仮設備や保安施設等の工事前仮設に関する資材は以下の通り、木製品を使用しなければならない。

ただし、これらに関する経費は諸経費に含むものとする。

- (1) ア～オの資材のうち、いずれかに必ず木製品を使用すること。
ア 掲示板（現場組織表、緊急連絡先など公衆に知らせるため設置するもの）

特 記 仕 様 書

- イ 工事看板（１ヶ所以上）
- ウ パリケード（１品以上）
- エ 木製クッションドラム（１品以上）
- オ 交通安全管理等の標示板

ただし、供用中の道路に係る工事の施工に用いる交通安全管理用標示板の様式仕様等（形態、寸法、色彩ほか）は、「道路工事の安全施設設置要領（案）」（平成８年３月）に準拠すること。

- （２）上記１の資材を必要としない工事、委託業務については、その旨を施工計画書に記載し監督職員の確認を得ること。

その場合は、上記１以外の仮設備、保安施設等の工事に用仮設資材で木製品をできるだけ１品以上使用すること

例：現場事務所の棚、机、靴箱、ベンチ等

注１：木製品とは、県内産木材で作成した製品または県内産木材の板材を受注者が加工したものとする。

注２：別工事で購入（加工）した木製品の使用も可とする。

注３：使用する木製品については、施工計画打ち合わせ時に監督職員に報告すること。

注４：県内産木材使用（納入）証明書は必要としないが、木製品の写真を工事写真に納めること。

第７条 個人情報の保護

- １ 受注者は、この契約による工事を施工するための個人情報の取り扱いについては、個人情報の保護に関する法律を遵守すること。

第８条 ダンプトラック等による過積載の防止

- １ 積載重量制限を越えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- ２ さし枠装着車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- ３ 過積載車両、さし枠装着車等から土砂等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- ４ 取引関係のあるダンプトラック事業者が過積載を行い、またさし枠装着車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- ５ 建設発生土の処理及び資材の購入等にあって、下請け業者及び資材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- ６ 以上のことにつき受注者は、下請け業者を十分に指導すること。

第９条 軽油単価の適正な運用

- １ 本工事において、受注者もしくは受注者の下請業者等が使用する建設機械の動力

源に使用する軽油において、軽油引取税の課税対象の免許証の交付及び承認がある場合は、すみやかに発注者に報告しなければならない。また、その場合、該当する建設機械に使用する軽油単価は免税後の単価に変更するものとする。

第１０条 不正軽油の使用禁止

- １ 受注者は、工事の施工に当たり、使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油を使用してはならない。

注：不正軽油とは、地方税法第１４４条の３２の規定による県知事の承認を受けないで製造又は譲渡された次のものをいう。

- ① 軽油と軽油以外の炭化水素油（重油、灯油等）を混和したもの
- ② 軽油以外の炭化水素油（重油、灯油等）と軽油以外の炭化水素油（重油、灯油等）を混和して製造されたもの
- ③ 自動車の燃料として譲渡・消費される燃料炭化水素（重油、灯油等）

- ２ 受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。

第１１条 「週休２日制モデル工事」の実施について（受注者希望型）

本工事は、「週休２日制モデル工事」実施要領における「受注者希望型」の対象工事である。詳細については、下記ホームページに掲載する同要領を参照すること。

香美市役所ホームページ（<https://www.city.kami.lg.jp/soshiki/8/>）

なお、発注時における労務費等の補正は実施せず、現場閉所の達成状況に応じて当該補正分を増額して変更契約を行うものとする。

第１２条 工事実績データ作成、登録

- １ 高知県建設工事共通仕様書共通編１－１－１－６に基づき、受注者は工事請負金額５００万円以上（単価契約の場合は登録不要）の全ての工事について、工事実績情報サービス（コリンズ）に受注・変更（工期、請負代金額、技術者）・完成・訂正時の工事実績データを登録しなければならない。

第１３条 公共事業労務費調査に対する協力

- １ 本工事が高知県の実施する公共事業労務費調査の対象工事になった場合は、受注者は、調査票等に必要事項を正確に記入し高知県に提出する等、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。
- ２ 調査票等を提出した事業所を高知県が事後に訪問して行う調査・指導の対象に受注者がなった場合、受注者は、その実施に協力しなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。
- ３ 公共事業労務費調査の対象工事になった場合に正確な調査票等の提出が行えるよ

特 記 仕 様 書

う、受注者は、労働基準法等に従って就労規則を作成するとともに賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかなければならない。

- 4 受注者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、受注者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請人を含む）が前3項と同様の義務を負う旨を定めなければならない。

第14条 施工形態動向調査等に対する協力

- 1 本工事が高知県の実施する施工形態動向調査等の対象工事となった場合は、受注者は、調査票等に必要事項を正確に記入し高知県に提出する等、必要な協力を行わなければならない。なお、調査費用は設計変更により計上することとする。

第15条 再生資源利用（促進）計画書及び実施書の提出並びに建設発生土の搬出に係る事前確認及び受領書について

- 1 受注者は、建設資材の利用量の大小に関わらず工事請負代金額が100万円以上の場合、又は、土砂の搬入量又は搬出量が500m³以上の場合、再生資源利用計画書及び実施書（建設リサイクルガイドライン様式1）を建設副産物情報交換システム（以下「COBRIS」という。）により作成し、施工計画書と併せて提出しなければならない。
- 2 受注者は、建設副産物の搬入量・搬出量の大小に関わらず工事請負代金額が100万円以上の場合、又は、土砂の搬入量又は搬出量が500m³以上の場合、再生資源利用促進計画書及び実施書（建設リサイクルガイドライン様式2）をCOBRISにより作成し、施工計画書と併せて提出しなければならない。
- 3 受注者は、500m³以上の建設発生土を搬出する建設工事において再生資源利用促進計画を作成しようとするときは、あらかじめ工事現場内の土地の掘削その他の形質の変更についての土壌汚染対策法等の手続きの確認並びに搬出先が宅地造成及び特定盛土等規制法及び土砂条例の許可地等であるかなどの確認を行い、その確認結果を記載した書面を作成し再生資源利用促進計画の添付資料とする。
- 4 受注者は、再生資源利用（促進）計画書の内容を発注者に説明しなければならない。また、再生資源利用（促進）計画書（現場揭示用様式）を公衆が見やすい場所に掲げること。
- 5 受注者は、500m³以上の建設発生土を搬出する建設工事において建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに、当該搬出先の管理者に対し、受領書の交付を求め、記載された搬出先の名称及び所在地が計画と一致することを確認する。なお、発注者から請求があった場合は速やかに受領書を

提示すること。

- 6 受注者は、建設発生土を再生資源利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、搬入元の管理者に対し受領書を交付する。

- 7 受注者は、再生資源利用（促進）計画書、実施書及び受領書を工事完了日から5年を経過する日まで保存すること。

（参考）COBRISについては、建設副産物情報センターのホームページ（<http://www.recycle.jacic.or.jp>）より、利用申請等を行うことができる。

第16条 産業廃棄物管理票等の提出

- 1 受注者は、本工事に伴い発生する産業廃棄物（以下「産業廃棄物」という。）について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃掃法」という。）を遵守し工期内に最終処分（埋立処分、海洋投入処分、又は再生）を終了しなければならない。また、受注者は産業廃棄物管理票（マニフェスト）により適正に処理されていることを確認するとともに発注者にそのE票の確認を受けなければならない。

ただし、廃掃法を遵守したうえで、工期内に産業廃棄物の最終処分を終了することが困難な場合で、発注者が認める場合においては、工期内に中間処理業者への搬入が終了すればよいものとするが、最終処分終了後すみやかに発注者にその旨を報告しなければならない。この場合、受注者は産業廃棄物管理票（マニフェスト）により適正に中間処理業者に搬入されていることを確認するとともに発注者にそのB2票の確認を受けなければならない。また、最終処分終了後すみやかにE票の確認を受けなければならない。なお、廃掃法に定める電子情報処理組織を使用する場合は、監督職員と別途協議するものとする。

第17条 建設副産物対策（建設副産物処理の数量確認）

本工事において、現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から建設副産物を搬出する場合、受注者は、搬出時等に以下のいずれかの作業を行い撮影したデジタル写真（電子データ）等を設計数量の確認資料として、監督職員に提出等をするものとする。

（作業内容）

- （1）建設副産物の処理数量を重さ（「t」）の単位とする場合

①受注者は、建設副産物を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載し（運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。）、工事黒板と荷姿、運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面のデジタル写真撮影をする。（各積載重量別車両毎に1工程以上（以下「代表写真」という。））

特 記 仕 様 書

- ②受注者は、①の全車両について処理施設に設置されているトラックスケールにて、重さを測定し、レシート等の記録を保管する。
- ③受注者は、監督職員に①の電子データを提出し、②の記録を提示する。
- (2) 建設副産物の処理数量を体積（「m³」）の単位とする場合次の1）から3）のうち、いずれかの方法により確定する。
- 1) コンクリート殻、アスファルト殻及び土砂など地山の状態または、建設発生木材（伐採木を含む）を山積みした状態等で体積確認ができるものは、地山測定による設計数量の確定をする。
- 受注者は、建設副産物を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載し（運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。）、工事黒板と荷姿、運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面のデジタル写真撮影をする。（代表写真）
- 2) 前記「（1）建設副産物の処理数量を重さ（「t」）により確認する場合」により重さを測定し、換算係数を用いて体積を算出して設計数量を確定する。
- ・コンクリート塊（鉄筋）2.5 (t/m³) ・コンクリート塊（無筋）2.35 (t/m³)
 - ・アスファルト塊 2.35 (t/m³) ・掘削土（土砂）1.8 (t/m³)
 - ・掘削土（軟岩）2.2 (t/m³) ・掘削土（硬岩）2.5 (t/m³)
- 3) 地山状態または、建設発生木材（伐採木を含む）を山積みした状態等で体積確認ができずに、掘削や取壊しなどを行った場合は、現場外への搬出の際に以下により確認する。
- ①受注者は、建設副産物を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載する（運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。）。
（全車写真）
- ②受注者は、①の工事黒板と併せ、積荷の体積が確認できるようリボンテープ等のスケールをあてデジタル写真撮影をする。（全車写真）
- ③また、②の状態のまま運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面のデジタル写真撮影をする。（全車写真）
- ④受注者は、監督職員に②③の電子データを提出する。
- (3) 受注者と処理施設との間の処理数量を「台数」による契約とする場合
- ①受注者は、建設副産物を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載する（運搬

を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。）。

（全車写真）

②受注者は、①の工事黒板と併せ、積荷の体積が確認できるようリボンテープ等のスケールをあてデジタル写真撮影をする。（全車写真）

③また、②の状態のまま運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面のデジタル写真撮影をする。（全車写真）

(4) 建設副産物（建設発生木材（伐採木を含む））を木材市場等に搬出する場合

①受注者は、木材を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時に、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載する。

（木材市場等まで運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。ただし、伐採木の売却を目的とした伐採木の枝打ち、玉切り等の加工、選別をしたものは、マニフェスト交付番号の記載は必要ない。）

②受注者は、①の工事黒板と併せ、積荷の体積が確認できるよう運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面のデジタル写真撮影をする。（代表写真）

③受注者は、監督職員に②の電子データを提出し、木材市場等の受入伝票等を提示する。

第18条 監督職員による検査（確認を含む）及び立会等

1 監督職員の立会を要する工種については、施工計画書提出時に、立会時期・頻度等を定めるものとする。

第19条 施工管理

1 品質管理は「高知県工事技術管理要綱 品質管理基準」により実施する。

第20条 排出ガス対策型建設機械

1 本工事において、以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領」（平成3年10月8日付建設省経機発第249号 最終改正平成22年3月18日付国総施第291号）」、排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程（国土交通省告示第348号、平成18年3月17日）」もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領（平成18年3月17日付け国総施第215号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。なお、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（平成17年法律第51号）」に基づき、技術基準に適合するものとして届出された特定特殊自動車を、本工事において使用する場合はこの限りではない。

排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標

特 記 仕 様 書

で実施された建設技術審査証明等により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。

ただし、これにより難い場合は監督職員と協議するものとする。また、請負金額（税込み）が5千万円以下の工事については、未対策型建設機械を所有しており、新たな出費を強いられる等の理由がある場合は、施工計画打ち合わせ時に監督職員と協議し、止むを得ないと判断された場合は、未対策型建設機械を使用することができるものとする。

排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、受注者は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、電子納品の際に施工状況写真に格納すること。

機 種

- ・バックホウ
- ・トラクタショベル（車輪式）
- ・ブルドーザ
- ・発動発電機（可搬式）
- ・空気圧縮機（可搬式）
- ・油圧ユニット（次に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの 油圧ハンマ、バイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機）
- ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ
- ・ホイールクレーン（ラフテレーンクレーンを含む）

※対象はディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。

第21条 交通誘導警備員の配置

- 1 交通誘導警備員を配置する場合は、原則として警備業法（昭和47年法律第117号）第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置することとし、建設作業員等の他職種の者を従事させてはならない。

ただし、一時的な作業等で、安全確保に対処できると監督職員が認めたものについては、この限りでない。

- 2 交通誘導警備員Aが必要な交通誘導警備業務については、交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員を交通誘導警備業務を行う場所ごと

に、1人以上配置することとする。

なお、配置する警備員の検定合格証の写しを事前に監督職員に提出し、警備員に変更が生じた場合は、速やかに監督職員に同資料を提出することとする。

- 3 交通誘導警備員Aが必要でない交通誘導警備業務については、警備業者の警備員であれば、交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員である必要はない。

また、警備業者の警備員の配置が困難な場合は、別に定める手続きにより、警備業者の警備員によらず建設作業員等の他職種の者を交通誘導員として従事させることができることとする。なおその際、受注者は、交通誘導に関する安全教育を建設作業員等に行なったうえ、交通誘導員として専任させること。

第22条 設計図書の変更

- 1 設計変更等については、建設工事請負契約書第18条から第20条及び第22条から第25条並びに高知県建設工事共通仕様書共通辺1-1-1-14から1-1-1-16に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「建設工事請負契約における設計変更ガイドライン(令和2年4月(高知県土木部))」に準ずることとする。

第23条 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

第24条 監理技術者等（当初請負対象金額が2億円未満の時に記載）

- 1 本工事において、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者（以下、「特例監理技術者」という。）の配置を行う場合は以下の（1）～（12）の要件を全て満たさなければならない。

（1）兼務する工事が社会機能の維持に不可欠な工事（維持委託業務等を含む。）でないこと。

（例：24時間体制で応急処置作業や巡回パトロール等が必要な工事等）

（2）低入札価格調査制度の調査対象工事でないこと。

（3）同一の特例監理技術者が配置できる工事の数は、同時に2件までであること。

（4）特例監理技術者が兼務できる工事は、特例監理技術者として職務を適正に遂行できる範囲内にあること。具体的には、工事現場の相互の距離が10km程度以内の近接した場所であること。

（5）特例監理技術者が兼務できる工事は、高知県発注工事以外（公共工事に限る。）でも可能とする。

（6）特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行できること。

特 記 仕 様 書

- (7) 特例監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。
- (8) 建設業法第26条第3項ただし書による監理技術者の職務を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。
- (9) 監理技術者補佐は、主任技術者の要件を満たしている者のうち、1級施工管理技士補を有する者又は1級施工管理技士等により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定種目は、特例監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。
- (10) 監理技術者補佐は、受注者と直接的かつ恒常的（3ヶ月以上）な雇用関係にあること。
- (11) 監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。
- (12) 兼務する工事の発注者に本工事との兼務について承諾を得ること。
- 2 本工事の監理技術者が特例監理技術者として兼務することとなる場合、「建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者及び監理技術者補佐の取扱いについて」（令和5年3月14日付け4高土政第1343号土木部長通知）に規定する別記様式1、別記様式2及び1の（1）～（12）の事項について確認できる書類を「現場代理人・技術者届」に添付し、提出すること。
- 3 本工事において、特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は適切にコリンズ（CORINS）への登録を行うこと。

第25条 工期

工期には、実働日数、雨天日、準備期間、後片付け期間及びその他作業不能日が含まれる。

また、工期に猛暑日を含むと想定される工事には、猛暑日日数7日が工期に含まれている。なお、実際の猛暑日日数が7日から大きく乖離し、かつ、作業を休止せざるを得なかった場合は、受注者は発注者へ工期の延長変更を請求することができる。（港湾工事及び港湾海岸工事を除く）

※猛暑日とは、8時から17時までのWBGT値が31以上の時間を足し合わせた日数（休日を除く）とする。WBGT値は、環境省熱中症予防情報サイトに掲載されている観測データによる。

第26条 低騒音型建設機械

本工事における以下の作業は低騒音型建設機械の使用を原則とする。

- ・掘削、積込作業、締固め作業
- ・発動発電機等の可搬式もの
- ・舗装版とりこわし作業は油圧ジャッキ式舗装版破碎機、低騒音型のバックホウ

の使用を原則とする。

ただし、高知県内のリース会社に在庫がなく調達できない場合は除く。

その他については、「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」、「低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規程」（高知県HP技術管理課ページ積算・設計・各種基準等に関するお知らせに掲載）を参考とすること。

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 防安PK-4

第4-62-001号

明示事項（説明書）

【工程関係】

1. 他の工事による施工時期及び全体工期等への影響

(1) 影響箇所

BC.4付近～NO.10+10.000付近

(2) 他の工事の内容

令和6年度合併特例債 楠目小学校駐車場造成工事

(香美市教育委員会 教育振興課発注)

(3) 他の工事の開始及び完了の時期

令和7年3月29日～令和8年2月（予定）

2. 施工時期、施工時間及び施工方法の制限

車両通行規制は片側交互通行とし、詳細については監督職員と事前に協議すること。

3. 当該工事の関係機関との協議の未成立事項・・・・・・無

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 防安PK-4

第4-62-001号

明示事項（説明書）

4. 他官庁等の特定条件による影響・・・・・・・・無

5. その他・・・・・・・・無

【用地関係】

1. 工事用地等の未処理部分・・・・・・・・無

2. 仮設ヤード等に官有地及び発注者借り上げ地の使用・・・・・・・・無

【安全対策関係】

1. 交通安全施設等の指定・・・・・・・・無

2. 近接する公共施設・・・・・・・・鉄道・ガス・電気・電話・水道・・・・・・・・無

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 防安PK-4

第4-62-001号

明示事項（説明書）

3. 防護施設の必要・・・・・・・・落石・土砂崩落・・・・・・・・無

4. 発破作業等の保安設備及び保安要員の配置の指定・・・・・・・・無

5. 発破作業等の制限・・・・・・・・無

【工事用道路関係】

1. 一般道路を搬入路として使用する場合

(1) 経路、期限の制限・・・・・・・・無

(2) 使用中及び使用後の処置・・・・・・・・無

2. 仮設路を設置する場合

(1) 安全施設等の設置の必要・・・・・・・・無

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 防安PK-4

第4-62-001号

明示事項（説明書）

（２）工事終了後の措置・・・・・・・・撤去

（３）維持及び補修の必要・・・・・・・・無

３．一般道路の占用の必要・・・・・・・・無

【仮設備関係】

１．仮土留、仮橋、足場等の仮設物を次年度に使用又は転用、兼用の予定・・・・・・・・無

２．仮設備の構造、施工方法の指定・・・・・・・・無

３．仮設備の設計条件・・・・・・・・無

【建設副産物関係】

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 防安PK-4

第4-62-001号

明示事項（説明書）

1. 建設発生土の搬出・・・・・・有

（1）搬出先の名称

搬出先の所在地 高知県南国市才谷八幡 四国砕石（株）

運搬距離 9.6km

その他 建設発生土の搬出先は、上記を予定している。

受注者の都合により搬出先を変更する場合は、発注者の
承諾を得ること。

2. 建設副産物の現場内での再利用及び減量化が必要・・・・・・無

3. 産業廃棄物の処理条件（*処理を委託する場合は、委託契約条件締結のうえマニフェストを使用のこと）

（1）コンクリート塊（無筋）

処理場所 高知市布師田3528-1 （株）アール・シィ

処理方法（指定）再資源化

（2）アスファルト塊

処理場所 香南市野市町本村1550他 （有）西内石灰工業所

処理方法（指定）再資源化

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 防安PK-4

第4-62-001号

明示事項（説明書）

処理場の受入条件

※上記については、「処理方法」は指定とするが、「処理場所」は、積算上の条件明示であり指定事項ではない。

【公害対策関係】

1. 公害防止（騒音・振動・粉じん等）のため、施工方法、機械施設・作動時間等の制限
本工事の施工に当たっては、「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」（昭和62年3月30日建設省経機発第58号）に基づき低騒音型建設機械の使用原則を図る地域であるため、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年度建設省告示第1536号）に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。ただし、これにより難しい場合は、必要書類を提出し監督職員と協議するものとする。

上記において、「これにより難しい」とは、供給側に問題があり、低騒音型建設機械を調達することができない場合であり、受注者の都合で調達できない場合は認めない。

2. 第三者に被害を及ぼすことの懸念・・・・・・無

【工事支障物件関係】

1. 地上、地下等の支障物件・・・・・・無

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 防安PK-4

第4-62-001号

明示事項（説明書）

2. 地上、地下等の占用物件工事と重複施工・・・・・・・・無

【排水工（濁水処理を含む）関係】

1. 濁水、湧水等の処理対策の指定・・・・・・・・無

【現場環境改善関係】

1. 現場環境改善費・・・・・・・・無

【その他】

1. 工事用資機材等の保管指定・・・・・・・・無

2. 工事現場発生品の処理指定・・・・・・・・無

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 防安PK-4

第4-62-001号

明示事項（説明書）

3. 支給資材及び貸与品・・・・・・・・無

4. 工事用電力等の指定・・・・・・・・無

5. 交通誘導警備員の配置

（1）工事期間中の安全確保のため、交通誘導警備員の配置人数は下記を予定している。

交通誘導警備員B 118人

なお、交通誘導警備員の配置については、事前に監督職員と協議すること。

6. その他

1. 学校に隣接しており、通学路にもなっているため、交通安全には細心の注意を払う必要がある。

2. 工事に際して、車両全面通行止は想定していない。原則、片側交互通行にて施工を行うこと。

3. 位置図及び図面をもとに事前確認をし、現地を理解したうえで応札すること。

疑義がある場合は、入札前に質疑すること。

4. 着手前に地元協議を行うこと。

なお地元協議により施工箇所、内容等に変更がある場合は誠意をもって対応すること。

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 防安PK-4

第4-62-001号

明示事項（説明書）

5. 施工時に変更が生じる場合は、監督職員に確認のうえ施工を行うこと。
監督職員と協議なく施工した場合は、変更対象としない。
6. 他工事との重複がある場合は、双方連絡を取り協力体制を徹底すること。

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					
道路新設・改築					
道路改良					
構造物撤去工					
構造物取壊し工					
コンクリート構造物取壊し	式	1			明細表 第1号
排水構造物工					
側溝工					
プレキャスト側溝	式	1			明細表 第2号
1号U型水路	式	1			明細表 第3号

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
自由勾配側溝	式	1			明細表 第4号
集水桝工	式	1			明細表 第5号
仮設工					
交通管理工					
交通誘導警備員	式	1			明細表 第6号
舗装工					
舗装工					
アスファルト舗装工	式	1			明細表 第7号
コンクリート舗装工	式	1			明細表 第8号
防護柵設置工					

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
防護柵工					
転落防止柵	式	1			明細表 第9号
擁壁工					
場所打擁壁工(構造物単位)					
重力式擁壁	式	1			明細表 第10号
私道部取合せ	式	1			明細表 第11号
道路土工					
土工					
掘削	式	1			明細表 第12号
路床盛土	式	1			明細表 第13号

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
路体盛土	式	1			明細表 第14号
埋戻工	式	1			明細表 第15号
残土処理	式	1			明細表 第16号
直接工事費計					
共通仮設費率分	式	1			
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費	式	1			
現場管理費					
工事原価					

明細表 第 2号
ブレキャスト側溝

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
歩車道境界ブロック付L型側溝据付(2.0m/個) 標準用 B400-T150 ,基礎砕石あり ,再生砕石 RC-40 ,週休2日補正:補正しない	m	56			単価表 第 2 号
歩車道境界ブロック付L形側溝(製品長 0.6m/個) 据付 ,基礎砕石有り ,歩道用B400-T150 ,しない<標準>(全ての費用)	m	9			施工P 第 2 号
歩車道境界ブロック付L形側溝(製品長 0.6m/個) 据付 ,基礎砕石有り ,出入用B400-T150 ,しない<標準>(全ての費用)	m	20			施工P 第 3 号
歩車道境界ブロック付L形側溝(製品長 0.6m/個) 据付 ,基礎砕石有り ,歩車道境界ブロック付L形側溝(各種) ,しない<標準>(全ての費用)	m	7			施工P 第 4 号
U型側溝 PU2-B400-H500*2000 ,据付 ,基礎砕石あり ,再生砕石 RC-40 ,週休2日補正:補正しない	m	27			単価表 第 3 号
蓋版 PC3-B400 ,据付 ,週休2日補正:補正しない	枚	43			単価表 第 4 号
蓋版 据付 ,40kg/枚以下 ,週休2日補正:補正しない	枚	5			単価表 第 5 号
1 式 当り					

明細表 第 4号
自由勾配側溝

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
自由勾配側溝 標準 B400-H600-L2000 ,基礎碎石あり ,再生碎石 RC-40 ,18-8-25(20) 高炉 W/C=60%以下 ,小型車加算有り(4t車) ,週休2日補正:補正しない	m	6			単価表 第 8 号
蓋版 据付 ,40kg/枚以下 ,週休2日補正:補正しない	枚	1			単価表 第 9 号
蓋版 据付 ,40を超え170kg/枚以下 ,週休2日補正:補正しない	枚	4			単価表 第 10 号
自由勾配側溝 土留用B400*H700*2m,基礎碎石あり ,再生碎石 RC-40 ,18-8-25(20) 高炉W/C=60% 以下 ,小型車加算有り(4t車) ,週休2日補正:補正しない	m	4			単価表 第 11 号
自由勾配側溝 土留用B400*H800*2m,基礎碎石あり ,再生碎石 RC-40 ,18-8-25(20) 高炉W/C=60% 以下 ,小型車加算有り(4t車) ,週休2日補正:補正しない	m	4			単価表 第 12 号
自由勾配側溝 土留用B400*H900*2m,基礎碎石あり ,再生碎石 RC-40 ,18-8-25(20) 高炉W/C=60% 以下 ,小型車加算有り(4t車) ,週休2日補正:補正しない	m	2			単価表 第 13 号
自由勾配側溝 土留用B400*H1000*2m,基礎碎石あり ,再生碎石 RC-40 ,18-8-25(20) 高炉 W/C=60%以下 ,小型車加算有り(4t車) ,週休2日補正:補正しない	m	2			単価表 第 14 号
自由勾配側溝 土留用B400*H1100*2m,基礎碎石あり ,再生碎石 RC-40 ,18-8-25(20) 高炉 W/C=60%以下 ,小型車加算有り(4t車) ,週休2日補正:補正しない	m	2			単価表 第 15 号
自由勾配側溝 土留用B400*H1300*2m,基礎碎石あり ,再生碎石 RC-40 ,18-8-25(20) 高炉 W/C=60%以下 ,小型車加算有り(4t車) ,週休2日補正:補正しない	m	2			単価表 第 16 号
自由勾配側溝 土留用B400*H1500*2m,基礎碎石あり ,再生碎石 RC-40 ,18-8-25(20) 高炉 W/C=60%以下 ,小型車加算有り(4t車) ,週休2日補正:補正しない	m	2			単価表 第 17 号

明細表 第 5号
集水桝工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
現場打ち集水桝・街渠桝(本体) 18-8-25(20)(高炉)W/C=60%以下,1.36m3を超え1.44m3以下,人力打設,一般養生・特殊養生(練炭),小型車加算有り(4t車)その他の地区	箇所	1			施工P 第 9 号
蓋版 据付,40を超え170kg/枚以下,週休2日補正:補正しない	枚	1			単価表 第 19 号
異形棒鋼 D13 SD345	t	0.002			
現場打ち集水桝・街渠桝(本体) 18-8-25(20)(高炉)W/C=60%以下,0.36m3を超え0.38m3以下,人力打設,一般養生・特殊養生(練炭),小型車加算有り(4t車)その他の地区	箇所	1			施工P 第 10 号
蓋版 据付,40kg/枚以下,週休2日補正:補正しない	枚	1			単価表 第 20 号
歩車道境界ブロック付集水桝 B=400	箇所	6			単価表 第 21 号
1 式 当り					

明細表 第 7号
アスファルト舗装工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m以上3.0m以下, 40 mm, 再生密粒度アスコン(13), プライムコート PK-3, しない<標準>(全ての費用), 小型車加算無し, 夜間割増無し, 溶融スラグ無し	m ²	200			施工P 第 14 号
表層(歩道部) 平均幅員1.4m以上, 40 mm, 再生密粒度アスコン(13), プライムコート PK-3, しない<標準>(全ての費用), 小型車加算無し, 夜間割増無し, 溶融スラグ無し	m ²	50			施工P 第 15 号
表層(歩道部) 平均幅員1.4m以上, 30 mm, 再生密粒度アスコン(13), プライムコート PK-3, しない<標準>(全ての費用), 小型車加算無し, 夜間割増無し, 溶融スラグ無し	m ²	155			施工P 第 16 号
上層路盤(車道・路肩部) 再生粒度調整碎石 RM-30, 100 mm, 1層施工, しない<標準>(全ての費用)	m ²	200			施工P 第 17 号
上層路盤(歩道部) 100 mm, 1層施工, 再生粒度調整碎石 RM-30, しない<標準>(全ての費用)	m ²	169			施工P 第 18 号
1 式 当り					

明細表 第 12号
掘削

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
掘削 土砂 , オープンカット , 押土無し , 障害無し , 5,000m3未満					施工 P 第 35 号
	m3	100			
床掘り 土砂 , 平均施工幅1m以上2m未満 , 土留無し , 障害無し					施工 P 第 30 号
	m3	96			
積込 (ルース) 土砂 , 土量50,000m3未満					施工 P 第 36 号
	m3	58			
基面整正					施工 P 第 31 号
	m ²	129			
1 式 当り					

単価表 第 1号

構造物とりこわし

単価表

(1)

金額：

内容：無筋構造物，機械施工，低騒音・低振動対策あり，週休2日補正:補正しない

1 m3 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし 無筋構造物 機械施工 時間的制約:無	m3	1			週休2日補正:補正しない
諸雑費	式	1			
	(	1	m3 当り		)
*** 施工条件 *** 構造物区分 : 無筋構造物 作業区分 : 機械施工					
時間的制約の有無 : 時間的制約:無 作業時間帯 : 標準 低騒音・低振動対策の有無 : 低騒音・低振動対策あり					
週休2日補正 : 週休2日補正:補正しない					

単価表 第 2号

歩車道境界ブロック付L型側溝据付(2.0m/個)

単価表

(10)

金額：

内容：標準用 B400-T150 ,基礎砕石あり ,再生砕石 RC-40 ,週休2日補正:補正しない

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
U型側溝 L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約:無	m	10			週休2日補正:補正しない
歩車道境界ブロック付L型側溝 標準用 B400-T150 L=2000mm	個	4.99			
再生砕石 RC-40	m3	0.8			
諸雑費	式	1			
	(	10	m 当り		)
	(	1	m 当り		)
*** 施工条件 *** 歩車道境界ブロック付L型側溝の規格 : 標準用 B400-T150 時間的制約の有無 : 時間的制約:無					
作業時間帯 : 標準 基礎砕石(厚さ20cm以下)の有無 : 基礎砕石あり 基礎砕石の種類 : 再生砕石 RC-40					
週休2日補正 : 週休2日補正:補正しない 基礎砕石の施工面積 : 6.65 m2/10m					

単価表 第 3号

U型側溝

単価表

(10)

金額：

内容：PU2-B400-H500*2000，据付，基礎碎石あり，再生碎石 RC-40，週休2日補正：補正しない

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
U型側溝 L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約：無	m	10			週休2日補正：補正しない
プレキャストU型側溝 道路用1種 PU2-B400-H500 L=2000mm	個	4.99			
再生碎石 RC-40	m3	0.79			
諸雑費	式	1			
	(	10	m 当り		)
	(	1	m 当り		)
*** 施工条件 *** U型側溝 (PU2型) の規格 : PU2-B400-H500*2000 作業区分 : 据付					
時間的制約の有無 : 時間的制約：無 作業時間帯 : 標準 施工箇所 : 通常					
基礎碎石施工の有無 : 基礎碎石あり 基礎碎石の種類 : 再生碎石 RC-40 週休2日補正 : 週休2日補正：補正しない					
U型側溝の種別 : プレキャスト道路用1種 PU2 基礎碎石の設計数量 : 0.66 m3/10m					

単価表 第 4号

蓋版

単価表

(1)

金額：

内容：PC3-B400，据付，週休2日補正：補正しない

1 枚 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
蓋版 コンクリート製・鋼製 40を超え170kg/枚 時間的制約：無	枚	1.0			週休2日補正：補正しない
側溝蓋 道路用1種 PC3-B400	枚	1.0			
諸雑費	式	1			
	(	1	枚 当り		)
*** 施工条件 *** 蓋版の種類 : PC3-B400 作業区分 : 据付 時間的制約の有無 : 時間的制約：無 作業時間帯 : 標準 施工箇所 : 通常 週休2日補正 : 週休2日補正：補正しない					

単価表 第 5号

蓋版

単価表

(1)

金額：

内容：据付，40kg/枚以下，週休2日補正：補正しない

1 枚 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
蓋版 コンクリート製・鋼製 40kg/枚 時間的制約：無	枚	1.0			週休2日補正：補正しない
蓋版	枚	1.0			
諸雑費	式	1			
	(	1	枚 当り		)
*** 施工条件 ***					
蓋版の種類 : 上記以外					
作業区分 : 据付					
施工区分 : 40kg/枚以下					
時間的制約の有無 : 時間的制約：無					
作業時間帯 : 標準					
施工箇所 : 通常					
週休2日補正 : 週休2日補正：補正しない					
蓋版の規格 : 鋼製蓋PU側溝用すべり止め B400 1m用 歩道用 嵩上					

単価表 第 6号

1号U型水路

単価表

(1)

金額：

内容：L=9.19m

1 式 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート 小型構造物，人力打設，18-8-25(20)(高炉)W/C=60%以下，一般養生，現場内小運搬無し，しない<標準>(全ての費用)，小型車加算有り(4t車)その他の地区	m3	2.4			施工P 第 5 号
型枠 一般型枠，小型構造物	m ²	24.8			施工P 第 6 号
目地板 30m2未満，瀝青繊維質目地板t=10	m ²	0.2			施工P 第 7 号
基礎碎石 7.5cmを超え12.5cm以下，再生クワッシャー RC-40，しない<標準>(全ての費用)	m ²	6.4			施工P 第 8 号
蓋版 据付，40を超え170kg/枚以下，週休2日補正:補正しない	枚	8.9			単価表 第 7 号
諸雑費	式	1			
	(	1	式 当り		)

単価表 第 7号

蓋版

単価表

(1)

金額：

内容：据付，40を超え170kg/枚以下，週休2日補正：補正しない

1 枚 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
蓋版 コンクリート製・鋼製 40を超え170kg/枚 時間的制約：無	枚	1.0			週休2日補正：補正しない
蓋版	枚	1.0			
諸雑費	式	1			
	(	1	枚 当り		)
*** 施工条件 *** 蓋版の種類 : 上記以外 作業区分 : 据付					
施工区分 : 40を超え170kg/枚以下 時間的制約の有無 : 時間的制約：無 作業時間帯 : 標準					
施工箇所 : 通常 週休2日補正 : 週休2日補正：補正しない 蓋版の規格 : 側溝蓋 現場打ち用C1-B300					

単価表 第 8号

自由勾配側溝

単価表

(10)

金額：

内容：標準 B400-H600-L2000 ,基礎碎石あり ,再生碎石 RC-40 ,18-8-25(20) 高炉 W/C=60%以下 ,小型車加算有り(4t車) ,週休2日補正:補正しない

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
自由勾配側溝 L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約:無	m	10			週休2日補正:補正しない
自由勾配側溝 B400-H600 L=2000mm	個	5			
生コンクリート 18-8-25(20) 高炉 W/C=60%以下	m3	0.33			基礎コンクリート
小型車加算 生コンクリート 4t車	m3	0.33			基礎コンクリート
生コンクリート 18-8-25(20) 高炉 W/C=60%以下	m3	0.53			底部コンクリート
小型車加算 生コンクリート 4t車	m3	0.53			底部コンクリート
再生碎石 RC-40	m3	0.86			
諸雑費	式	1			
	(	10	m 当り		)
	(	1	m 当り		)

単価表 第 8号

自由勾配側溝

単価表

(10)

金額：

内容：標準 B400-H600-L2000 ,基礎碎石あり ,再生碎石 RC-40 ,18-8-25(20) 高炉 W/C=60%以下 ,小型車加算有り(4t車) ,週休2日補正:補正しない

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
*** 施工条件 ***					
規格(標準用)					: 標準 B400-H600-L2000
時間的制約の有無					: 時間的制約:無
作業時間帯					: 標準
基礎碎石施工の有無					: 基礎碎石あり
基礎碎石の種類					: 再生碎石 RC-40
基礎・底部コンクリートの規格					: 18-8-25(20) 高炉 W/C=60%以下
小型車加算の有無					: 小型車加算有り(4t車)
週休2日補正					: 週休2日補正:補正しない
種類					: 標準用
基礎碎石の設計数量					: 0.72 m3/10m
基礎コンクリート設計数量					: 0.31 m3/10m
底部コンクリートの設計数量					: 0.50 m3/10m

単価表 第 9号

蓋版

単価表

(1)

金額：

内容：据付，40kg/枚以下，週休2日補正：補正しない

1 枚 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
蓋版 コンクリート製・鋼製 40kg/枚 時間的制約：無	枚	1.0			週休2日補正：補正しない
蓋版	枚	1.0			
諸雑費	式	1			
	(	1	枚 当り		)
*** 施工条件 *** 蓋版の種類 : 上記以外 作業区分 : 据付					
施工区分 : 40kg/枚以下 時間的制約の有無 : 時間的制約：無 作業時間帯 : 標準					
施工箇所 : 通常 週休2日補正 : 週休2日補正：補正しない 蓋版の規格 : 鋼製蓋VS側溝用 すべり止め歩道用 細目 B400 嵩上					

単価表 第 10号

蓋版

単価表

(1)

金額：

内容：据付，40を超え170kg/枚以下，週休2日補正：補正しない

1 枚 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
蓋版 コンクリート製・鋼製 40を超え170kg/枚 時間的制約：無	枚	1.0			週休2日補正：補正しない
蓋版	枚	1.0			
諸雑費	式	1			
	(	1	枚 当り		)
*** 施工条件 *** 蓋版の種類 : 上記以外 作業区分 : 据付					
施工区分 : 40を超え170kg/枚以下 時間的制約の有無 : 時間的制約：無 作業時間帯 : 標準					
施工箇所 : 通常 週休2日補正 : 週休2日補正：補正しない 蓋版の規格 : 側溝蓋 VS側溝用 車道用呼び名400 L=500mm					

単価表 第 11号

自由勾配側溝

単価表

(10)

金額：

内容：土留用B400*H700*2m, 基礎碎石あり , 再生碎石 RC-40 , 18-8-25 (20) 高炉W/C=60%以下 , 小型車加算有
り (4t車) , 週休2日補正:補正しない

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
自由勾配側溝 L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約:無	m	10			週休2日補正:補正しない
自由勾配側溝 土留用B400*H700*2m	個	5			
土留底板W400 VS側溝用 191kg	個	5			
生コンクリート 18-8-25 (20) 高炉 W/C=60%以下	m3	0.55			基礎コンクリート
小型車加算 生コンクリート 4t車	m3	0.55			基礎コンクリート
生コンクリート 18-8-25 (20) 高炉 W/C=60%以下	m3	1.19			底部コンクリート
小型車加算 生コンクリート 4t車	m3	1.19			底部コンクリート
再生碎石 RC-40	m3	1.37			
諸雑費	式	1			
	(	10	m 当り		)

単価表 第 12号 自由勾配側溝					
単価表 (10)					
金額： 内容： 土留用B400*H800*2m, 基礎碎石あり , 再生碎石 RC-40 , 18-8-25 (20) 高炉W/C=60%以下 , 小型車加算有り (4t車) , 週休2日補正:補正しない 1 m 当り					
名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
自由勾配側溝 L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約:無	m	10			週休2日補正:補正しない
自由勾配側溝 土留用B400*H800*2m	個	5			
土留底板W400 VS側溝用 191kg	個	5			
生コンクリート 18-8-25 (20) 高炉 W/C=60%以下	m3	0.55			基礎コンクリート
小型車加算 生コンクリート 4t車	m3	0.55			基礎コンクリート
生コンクリート 18-8-25 (20) 高炉 W/C=60%以下	m3	1.19			底部コンクリート
小型車加算 生コンクリート 4t車	m3	1.19			底部コンクリート
再生碎石 RC-40	m3	1.37			
諸雑費	式	1			
	(	10	m 当り		)

単価表 第 13号

自由勾配側溝

単価表

(10)

金額：

内容：土留用B400*H900*2m, 基礎碎石あり , 再生碎石 RC-40 , 18-8-25 (20) 高炉W/C=60%以下 , 小型車加算有
り (4t車) , 週休2日補正:補正しない

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
自由勾配側溝 L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約:無	m	10			週休2日補正:補正しない
自由勾配側溝 土留用B400*H900*2m	個	5			
土留底板W400 VS側溝用 191kg	個	5			
生コンクリート 18-8-25 (20) 高炉 W/C=60%以下	m3	0.56			基礎コンクリート
小型車加算 生コンクリート 4t車	m3	0.56			基礎コンクリート
生コンクリート 18-8-25 (20) 高炉 W/C=60%以下	m3	1.19			底部コンクリート
小型車加算 生コンクリート 4t車	m3	1.19			底部コンクリート
再生碎石 RC-40	m3	1.39			
諸雑費	式	1			
	(	10	m 当り		)

単価表 第 14号

自由勾配側溝

単価表

(10)

金額：

内容：土留用B400*H1000*2m, 基礎碎石あり , 再生碎石 RC-40 , 18-8-25 (20) 高炉W/C=60%以下 , 小型車加算有
り (4t車) , 週休2日補正:補正しない

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
自由勾配側溝 L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約:無	m	10			週休2日補正:補正しない
自由勾配側溝 土留用B400*H1000*2m	個	5			
土留底板W400 VS側溝用 191kg	個	5			
生コンクリート 18-8-25 (20) 高炉 W/C=60%以下	m3	0.56			基礎コンクリート
小型車加算 生コンクリート 4t車	m3	0.56			基礎コンクリート
生コンクリート 18-8-25 (20) 高炉 W/C=60%以下	m3	1.19			底部コンクリート
小型車加算 生コンクリート 4t車	m3	1.19			底部コンクリート
再生碎石 RC-40	m3	1.39			
諸雑費	式	1			
	(	10	m 当り		)

単価表 第 15号

自由勾配側溝

単価表

(10)

金額：

内容：土留用B400*H1100*2m, 基礎碎石あり , 再生碎石 RC-40 , 18-8-25 (20) 高炉 W/C=60%以下 , 小型車加算
有り(4t車) , 週休2日補正:補正しない

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
自由勾配側溝 L=2000mm 1000を超え2000kg/個以下 時間的制約:無	m	10			週休2日補正:補正しない
自由勾配側溝 土留用B400*H1100*2m	個	5			
土留底板W400 VS側溝用 191kg	個	5			
生コンクリート 18-8-25 (20) 高炉 W/C=60%以下	m3	0.57			基礎コンクリート
小型車加算 生コンクリート 4t車	m3	0.57			基礎コンクリート
生コンクリート 18-8-25 (20) 高炉 W/C=60%以下	m3	1.19			底部コンクリート
小型車加算 生コンクリート 4t車	m3	1.19			底部コンクリート
再生碎石 RC-40	m3	1.42			
諸雑費	式	1			
	(	10	m 当り		)

単価表 第 16号

自由勾配側溝

単価表

(10)

金額：

内容：土留用B400*H1300*2m, 基礎碎石あり , 再生碎石 RC-40 , 18-8-25 (20) 高炉 W/C=60%以下 , 小型車加算
有り(4t車) , 週休2日補正:補正しない

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
自由勾配側溝 L=2000mm 1000を超え2000kg/個以下 時間的制約:無	m	10			週休2日補正:補正しない
自由勾配側溝 土留用B400*H1300*2m	個	5			
土留底板W450 VS側溝用 205kg	個	5			
生コンクリート 18-8-25 (20) 高炉 W/C=60%以下	m3	0. 61			基礎コンクリート
小型車加算 生コンクリート 4t車	m3	0. 61			基礎コンクリート
生コンクリート 18-8-25 (20) 高炉 W/C=60%以下	m3	1. 19			底部コンクリート
小型車加算 生コンクリート 4t車	m3	1. 19			底部コンクリート
再生碎石 RC-40	m3	1. 51			
諸雑費	式	1			
	(	10	m 当り		)

単価表 第 17号

自由勾配側溝

単価表

(10)

金額：

内容：土留用B400*H1500*2m, 基礎碎石あり , 再生碎石 RC-40 , 18-8-25 (20) 高炉 W/C=60%以下 , 小型車加算
有り(4t車) , 週休2日補正:補正しない

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
自由勾配側溝 L=2000mm 1000を超え2000kg/個以下 時間の制約:無	m	10			週休2日補正:補正しない
自由勾配側溝 土留用B400*H1500*2m	個	5			
土留底板W550 VS側溝用 257kg	個	5			
生コンクリート 18-8-25 (20) 高炉 W/C=60%以下	m3	0.67			基礎コンクリート
小型車加算 生コンクリート 4t車	m3	0.67			基礎コンクリート
生コンクリート 18-8-25 (20) 高炉 W/C=60%以下	m3	1.19			底部コンクリート
小型車加算 生コンクリート 4t車	m3	1.19			底部コンクリート
再生碎石 RC-40	m3	1.63			
諸雑費	式	1			
	(	10	m 当り		)

単価表 第 18号

自由勾配側溝

単価表

(10)

金額：

内容：土留用B400*H1600*2m, 基礎碎石あり , 再生碎石 RC-40 , 18-8-25 (20) 高炉 W/C=60%以下 , 小型車加算
有り(4t車) , 週休2日補正:補正しない

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
自由勾配側溝 L=2000mm 1000を超え2000kg/個以下 時間的制約:無	m	10			週休2日補正:補正しない
自由勾配側溝 土留用B400*H1600*2m	個	5			
土留底板W600 VS側溝用 273kg	個	5			
生コンクリート 18-8-25 (20) 高炉 W/C=60%以下	m3	0.7			基礎コンクリート
小型車加算 生コンクリート 4t車	m3	0.7			基礎コンクリート
生コンクリート 18-8-25 (20) 高炉 W/C=60%以下	m3	1.19			底部コンクリート
小型車加算 生コンクリート 4t車	m3	1.19			底部コンクリート
再生碎石 RC-40	m3	1.69			
諸雑費	式	1			
	(	10	m 当り		)

単価表 第 19号

蓋版

単価表

(1)

金額：

内容：据付，40を超え170kg/枚以下，週休2日補正：補正しない

1 枚 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
蓋版 コンクリート製・鋼製 40を超え170kg/枚 時間的制約：無	枚	1.0			週休2日補正：補正しない
蓋版	枚	1.0			
諸雑費	式	1			
	(	1	枚 当り		)
*** 施工条件 *** 蓋版の種類 : 上記以外 作業区分 : 据付					
施工区分 : 40を超え170kg/枚以下 時間的制約の有無 : 時間的制約：無 作業時間帯 : 標準					
施工箇所 : 通常 週休2日補正 : 週休2日補正：補正しない 蓋版の規格 : 鋼製グレーチング 柵用T-14 ボルト固定式 細目 800×800					

単価表 第 20号

蓋版

単価表

(1)

金額：

内容：据付，40kg/枚以下，週休2日補正：補正しない

1 枚 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
蓋版 コンクリート製・鋼製 40kg/枚 時間的制約：無	枚	1.0			週休2日補正：補正しない
蓋版	枚	1.0			
諸雑費	式	1			
	(	1	枚 当り		)
*** 施工条件 *** 蓋版の種類 : 上記以外 作業区分 : 据付					
施工区分 : 40kg/枚以下 時間的制約の有無 : 時間的制約：無 作業時間帯 : 標準					
施工箇所 : 通常 週休2日補正 : 週休2日補正：補正しない 蓋版の規格 : 鋼製グレーチング 枠用T-2 受枠付400×600 110° 開閉					

単価表 第 21号

歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ付集水桝

単価表

(1)

金額：

内容：B=400

1 箇所 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ付L形側溝(製品長 0.6m/個) 据付，基礎碎石無し，標準用B400-T150(ｸﾞﾚｰﾅﾝｸﾞ付)，しない<標準>(全ての費用)	m	0.6			施工P 第 11 号
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ付L形側溝(製品長 0.6m/個) 据付，基礎碎石有り，歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ付L形側溝(各種)，しない<標準>(全ての費用)	m	0.6			施工P 第 12 号
暗渠排水管 据付，直管，200～400mm，しない<標準>(全ての費用)	m	2			施工P 第 13 号
諸雑費	式	1			
	(	1	箇所 当り		)

単価表 第 23号

横断・転落防止柵設置工

単価表

(1)

金額：

内容：コンクリート建込，ヒーム式，支柱間隔3m，H=1,100 センタータイプ 塗装，100m未満，週休2日補正：補正しない

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
横断・転落防止柵設置工(市場単価) コンクリート建込 ヒーム式・ハネ式 支柱間隔3m	m	1			
転落防止柵(構造物用) @3mH=1.10mハネ 4本 センタータイプ 塗装	m	1			
諸雑費	式	1			
	(	1	m 当り		)
*** 施工条件 ***					
施工区分 : コンクリート建込					
防護柵の種類 : ヒーム式					
支柱間隔 : 支柱間隔3m					
材料区分 : H=1,100 センタータイプ 塗装					
施工規模 : 100m未満					
時間的制約の有無 : 時間的制約：無					
作業時間帯 : 標準					
週休2日補正(標準の市場単価のみ) : 週休2日補正：補正しない					

単価表 第 24号

暗渠排水材設置工

単価表

(100)
1 m 当り

金額：

内容：

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
暗渠排水材 厚30×幅200mm 不透水シート付き	m	100			
普通作業員	人	3			
諸雑費	式	1			
	(	100	m 当り		)
	(	1	m 当り		)

単価表 第 25号

嵩上げ擁壁

単価表

(1)

金額：

内容：L=12. 440m

1 式 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート 無筋・鉄筋構造物，人力打設，18-8-40(高炉)W/C=60%以下，一般養生，現場内小運搬無し，しなない<標準>(全ての費用)，小型車加算有り(4t車)その他の地区	m3	3. 7			施工P 第 22 号
型枠 一般型枠，鉄筋・無筋構造物	m ²	16. 4			施工P 第 23 号
目地板 30m2未満，瀝青繊維質目地板t=10	m ²	0. 37			施工P 第 7 号
鉄筋工 SD345 D16～D25，一般構造物，10t未満，差筋及び杭頭処理，週休2日補正:補正しない	t	0. 025			単価表 第 26 号
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30mm以上200mm未満	孔	66			施工P 第 24 号
樹脂カプセル D-16, Φ15. 5×130mm, モルタルカプセル	本	66			
諸雑費	式	1			
	(	1	式 当り		)

単価表 第 26号

鉄筋工

単価表

(1)

金額：

内容：SD345 D16～D25，一般構造物，10t未満，差筋及び杭頭処理，週休2日補正：補正しない

1 t 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
鉄筋工(市場単価) 一般構造物	t	1.0			
異形棒鋼 D16～25 SD345	t	1.03			
諸雑費	式	1			
	(	1	t 当り		)
*** 施工条件 *** 材料費(規格・径) : SD345 D16～D25 市場単価(規格・仕様) : 一般構造物					
市場単価(施工規模)全規格・径の合計 : 10t未満 市場単価(時間的制約) : 時間的制約：無 市場単価(作業時間帯) : 標準					
市場単価(トン内作業) : トン内作業なし 市場単価(法面作業) : 法面作業なし 市場単価(太径鉄筋の割合) : 太径鉄筋10%未満					
市場単価(構造物種別) : 差筋及び杭頭処理 週休2日補正(標準の市場単価のみ) : 週休2日補正：補正しない					

単価表 第 27号

練石積

単価表

(1)

金額：

内容：L=12. 858m

1 式 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
石積(張)(雑石)(石材材料費除く) 積工，練石	m ²	23. 9			施工P 第 25 号
雑石(粗石) 控長35cm 石積(張)工用	t	14. 6			
胴込・裏込コンクリート 積工，18-8-40(高炉)W/C=60%以下，小型車加算有り(4t車)その他の地区	m3	4. 0			施工P 第 26 号
裏込材(クラッシュラン) 積工，再生クラッシュラン RC-40	m3	4. 7			施工P 第 27 号
現場打基礎コンクリート 18-8-25(20)(高炉)W/C=60%以下，基礎碎石有り，一般養生・特殊養生(練炭)，小型車加算有り(4t車)その他の地区	m3	0. 92			施工P 第 28 号
諸雑費	式	1			
	(	1	式 当り		)

単価表 第 28号

土工

単価表

(1)

金額：

内容：私道部取合せ

1 式 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
掘削 土砂，片切掘削	m ³	32.6			施工P 第 29 号
床掘り 土砂，平均施工幅1m以上2m未満，土留無し，障害無し	m ³	17.7			施工P 第 30 号
基面整正	m ²	16.4			施工P 第 31 号
路体(築堤)盛土 2.5m以上4.0m未満	m ³	23.6			施工P 第 32 号
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	m ³	12.7			施工P 第 33 号
土砂等運搬 標準，バックホウ山積0.8m ³ (平積0.6m ³)，土砂(岩塊・玉石混り土含む)，DID区間有り，11.0km以下	m ³	10			施工P 第 34 号
残土処分費 土砂	m ³	10			処分費
構造物とりこわし 無筋構造物，機械施工，低騒音・低振動対策あり，週休2日補正：補正しない	m ³	5.5			単価表 第 1 号
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし，機械積込，DID区間有り，14.4km以下，しない<標準>(全ての費用)	m ³	5.5			施工P 第 1 号
処分料 再資源化施設(無筋コンクリート) 再生骨材-52	m ³	5.5			処分費

単価表 第 28号 土工

単価表

(1)
1 式 当り

金額： 内容：私道部取合せ

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
諸雑費	式	1			
	(	1	式 当り		)
諸雑費					

施工単価条件一覧表

名称・規格・条件

明細表 第8号-001 コンクリート

無筋・鉄筋構造物，人力打設，18-8-25(20)(高炉)W/C=60%以下，一般養生，現場内小運搬無し，しない<標準>(全ての費用)，小型車加算有り(4t車)その他の地区

明細表 第10号-001 重力式擁壁

平均高さ1mを超え2m未満，18-8-40(高炉)W/C=60%以下，基礎碎石有り，均しコンクリート無し，一般養生，圧送管延長無し，小型車加算有り(4t車)その他の地区，一般型枠

明細表 第10号-002 重力式擁壁

平均高さ1mを超え2m未満，18-8-40(高炉)W/C=60%以下，基礎碎石有り，均しコンクリート無し，一般養生，圧送管延長無し，小型車加算有り(4t車)その他の地区，一般型枠

諸 経 費 計 算 情 報

単価適用年月日	令和 7年 4月21日
単価適用地区	中央東土木事務所 1 地区(南部地区)
工種区分	道路改良工事
I C T補正（3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理）	補正しない
技術者間接費の計上有無	計上しない
機器単体費の計上有無	計上しない
施工地域・工事場所区分の補正（共通仮設費）	一般交通影響有り（2）－2
除雪工事で営繕費の補正を行う場合の補正	補正しない
施工地域・工事場所区分の補正（現場管理費）	一般交通影響有り（2）－2
堤頂20mの補正	補正しない
緊急工事の補正	補正しない
前払金支出割合	3 5 %を超える（1.00）
契約保証に係る補正	金銭的保証
工事価格まるめ区分	万円まるめ
諸経費等率指定	率指定しない
現場環境改善費の計上有無	計上しない

